

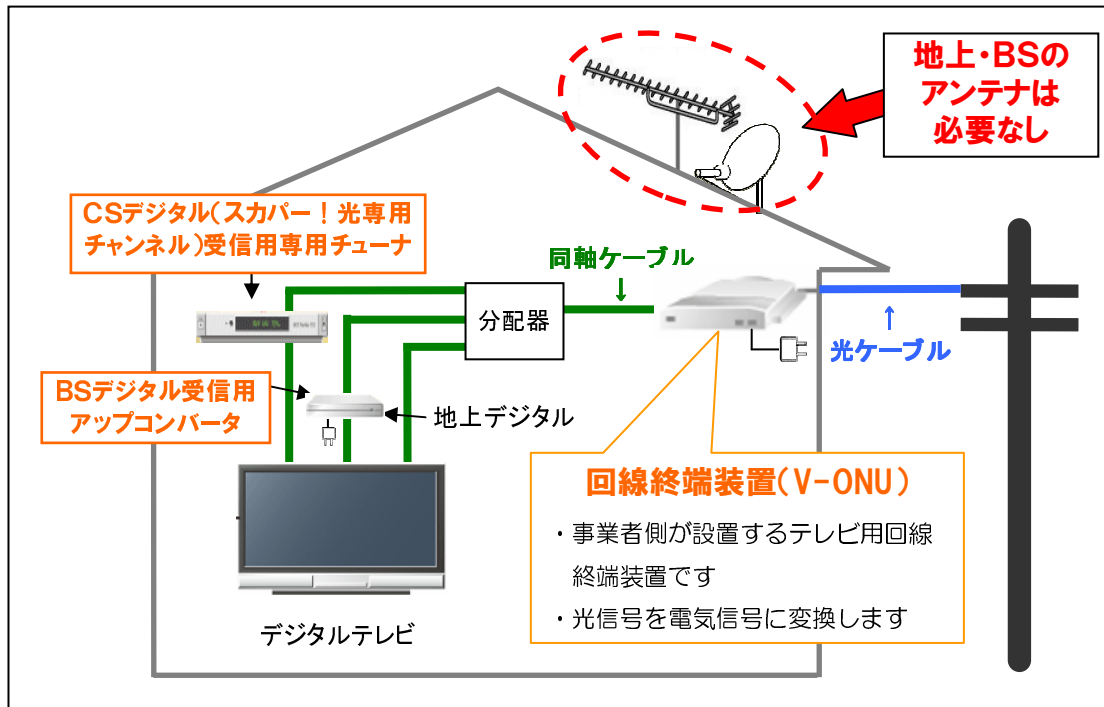
アンテナなしでテレビが見られる！ 光ファイバーを利用したテレビ視聴

アンテナなしでテレビ放送が見られるサービスとして、光ファイバー伝送によるテレビ視聴サービスが開始されています。地上・BS デジタル放送はもちろん、多彩な専門チャンネルも視聴可能となっています。

＜主なサービス提供先＞

事業者名	サービス名	サービス提供エリア
(株)オプティキャスト・マーケティング	スカパー！光	関東、関西、中京、東北
(株)ケイ・オプティコム	e o 光テレビ	関西

＜ 受信システム例 ＞



当初は上記2社とも、集合住宅向けとしてサービスしていましたが、最近では戸建住宅にもサービスを始めています。

＜「スカパー！光」で視聴可能な放送と各家庭に必要な受信機＞

視聴できる放送	地上アナログ	地上デジタル	BS デジタル	CS デジタル (スカパー！光チャンネル)
各家庭で必要な受信機	市販の受信機	市販のデジタル受信機	市販のデジタル受信機 ＋ アップコンバータ (レンタル品・集合住宅では必要なし)	市販の受信機 ＋ 専用チューナー (レンタル品)

2011 年以降の衛星放送について

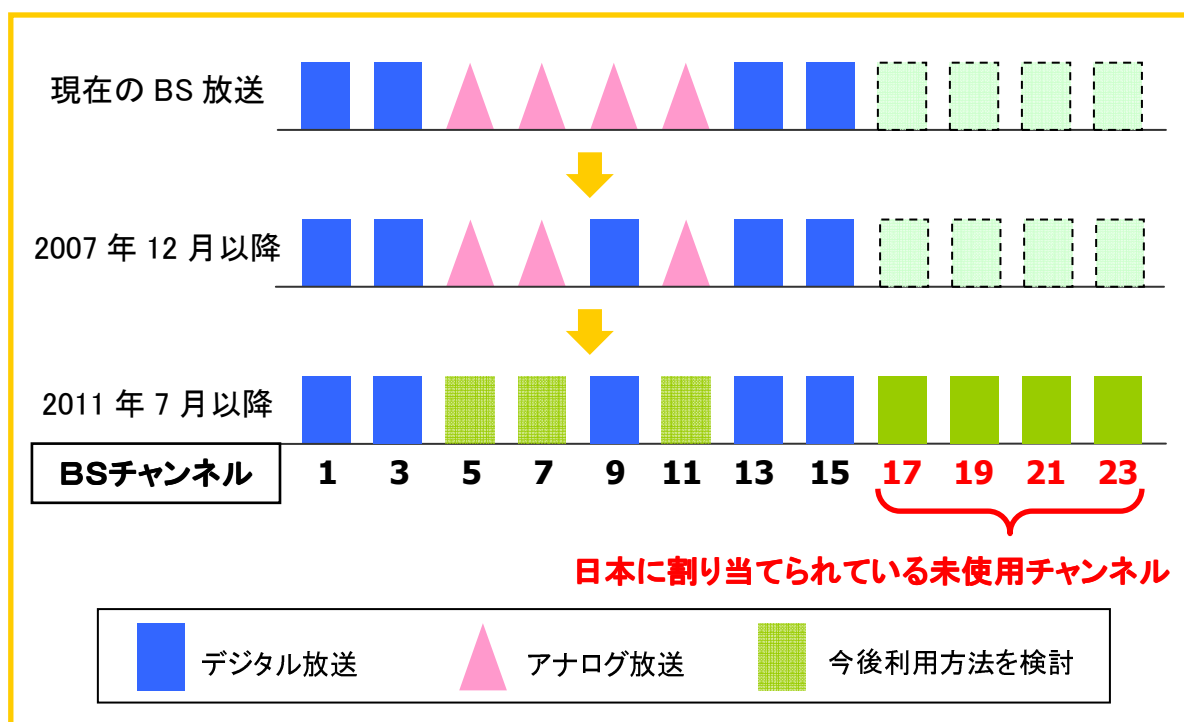
総務省では平成 17 年 10 月から「衛星放送の将来像に関する研究会」(座長：舟田正之 立教大学法学部教授)を開催し、今後の衛星放送のあり方について検討してきましたが、このたび最終報告書が取りまとめられました。

詳しくは、総務省ホームページをご覧ください。

(http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/policyreports/chousa/eisei_houso/index.html)

BS デジタル放送に新たに7つのチャンネル追加(総務省最終報告書より)

BS アナログ放送は、2011 年までに終了することになっており、2011 年以降は BS アナログ放送終了後の 3 チャンネルと、2000 年の世界無線通信会議(WRC-2000)において新たに割り当てられた第 17・19・21・23 チャンネルの 4 チャンネル、計 7 チャンネルで BS デジタル放送が可能となります。



※第 9 チャンネルの BS アナログハイビジョン(MUSE)放送は、2007 年 9 月 30 日に放送番組を終了し、12 月 1 日から新たな BS デジタル放送を開始する予定です。

総務省では、2011 年以降の BS チャンネルの利用について、今後も検討を進めていく方針です。

デジタル放送Q & A

～双方向番組の参加方法～

Q

デジタル放送でNHKのクイズ番組に参加できるって聞いたけど、どうすれば参加できるのかしら？



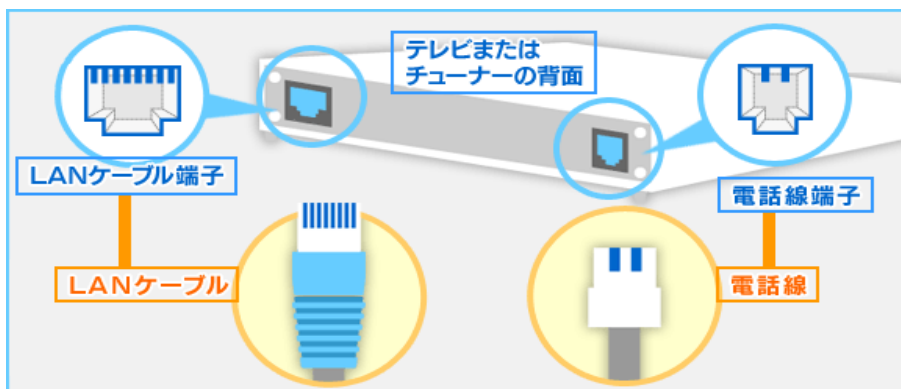
A

デジタルテレビにLANケーブルか電話線を接続すれば参加できます

クイズ番組に参加するには、デジタルテレビやチューナーにLANケーブル、または電話線を接続して、クイズの答えや参加者の情報を放送局に送る必要があります。

ステップ①

お使いのテレビの接続端子を確認して、LANケーブルか電話線を接続します。



ステップ②

テレビやチューナーの設定メニューからLANケーブルや電話線の接続設定を行います。設定方法は、取扱説明書をご覧ください。

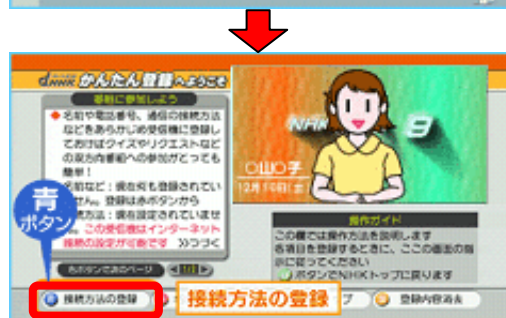
<かんたん登録画面>



ステップ③

NHKの地上デジタル総合やBSデジタルハイビジョンのデータ放送トップ画面から「かんたん登録」を選び、放送局との接続テストや、名前・電話番号の登録などを行います。

以上の接続や設定を行うことで、クイズ番組や紅白歌合戦など、視聴者の皆さんが参加できる「双方向番組」がお楽しみいただけます。



視聴者の皆さんが参加できる「双方向番組」を一部紹介します！

- ★にっぽんのマジョリティー BS-hi 毎週土曜 午後9時～
 - ★ためしてガッテン デジタル総合 毎週水曜 午後8時～
 - BS-hi 毎週水曜 午後2時～
 - ★第57回NHK紅白歌合戦 デジタル総合・BS-hi 12月31日、午後7時20分～
- 審査員として参加できます。詳しくは紅白歌合戦ホームページをご覧ください。
<http://www3.nhk.or.jp/kouhaku/index.html>

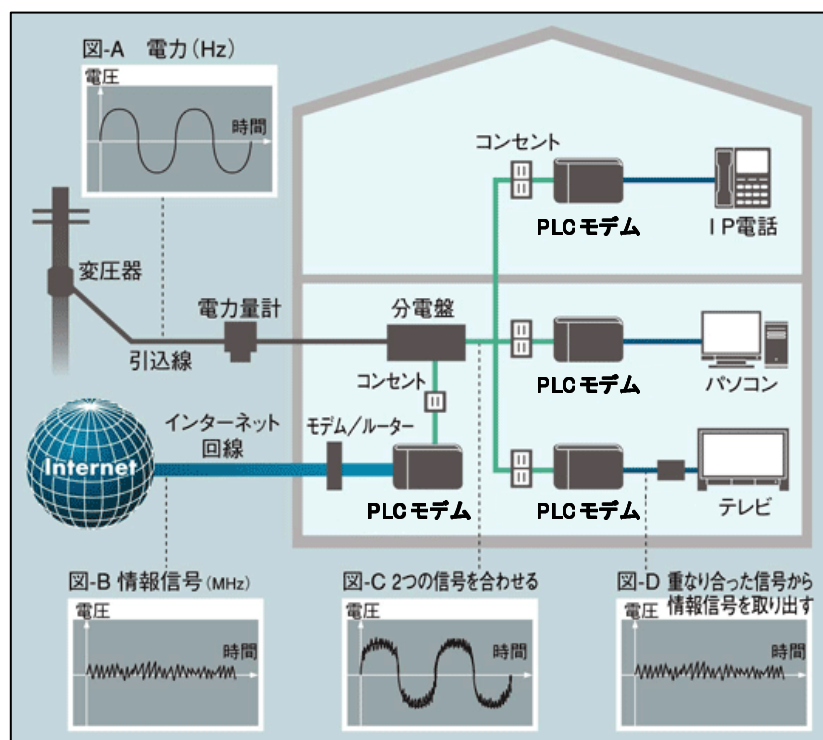
PLC（高速電力線通信）

PLC（Power Line Communications：高速電力線通信）は、建物内の電気配線（電力線）を通信回線として利用する技術です。

やり取りしたいデジタル情報を高周波信号に変換して電気配線に乗せます。2カ所以上のコンセントにPLCモデムの電源コードを差し込むと、コンセント間の電気配線がLANケーブルのように働き、手軽にネットワークを構築することができます。

また、PLC モデムにインターネットモデムやルータを接続することで、インターネットも利用できます。最大で 200Mbps 程度のデータ通信が可能です。

< PLC のイメージ >



< PLC モデム >



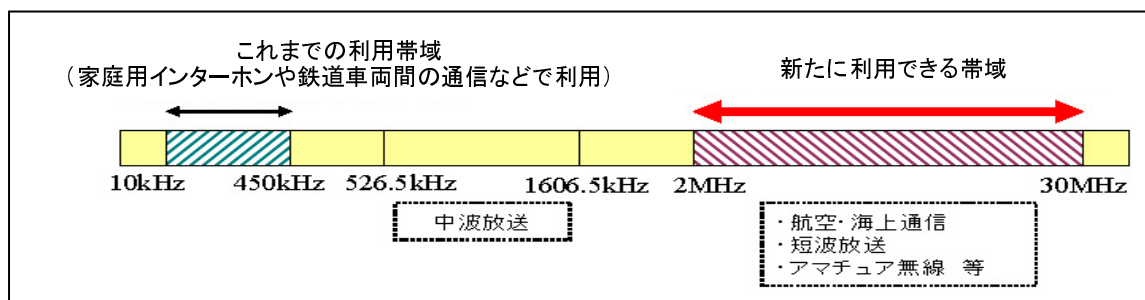
松下 BL-PA100



住友電気工業 PTE1310

PLC が使用できる帯域はこれまで 10～450kHz に限られていましたが、今年 10 月の電波法改正により、2～30MHz 帯も使用できるようになりました。

なお、2～30MHz 帯を使用している短波放送やアマチュア無線などに影響を与えないよう、PLC の使用は屋内に限定されています。



< PLC の利用周波数帯 >